



特集

国際潮流シリーズ第2弾: ESOMAR 大会参加報告
国際的に安定成長に回帰 –AIを「どう使うか」が課題に

TOPICS

- 開催報告:「クライアントの取り組みを聞く」第6弾 Sansan 様
- 開催報告:リサーチャーのDX/リスクリング推進シリーズ講座 第3弾

Vol.72

2023/10/17 配信

もうすぐハロウィンです。日本でもすっかり市民権を得て賑やかな仮装パーティーで溢れていますが、2014年からユニークなコンセプトのハロウィンパーティーが開催されています。その名も「地味な仮装限定ハロウィン」。魔女やゾンビのような派手な仮装は禁止で、代わりに「コピー機の故障したサラリーマン」や「忘れられた傘」など、地味で微妙な仮装が披露されていました。このユニークなコンセプトは多くの人々の関心を引きつけ、その独特な魅力で注目を浴びています。普段のハロウィンとは一味違い、参加者たちは日常の些細な出来事や悩みをクリエイティブに仮装として表現することで、笑顔と共感を生み出しています。

この地味なハロウィンは、人々の中に新たな仮装の楽しみ方を提案し、ユーモアあふれるコミュニケーションの場となっています。2014年は阿佐ヶ谷、それ以降(今年も)渋谷の東京カルチャー

センターで開催されているそうです。

年末に向け徐々に仕事が立て込んできますが、こういうユーモアに触れることで一息ついてみてはいかがでしょうか？

＜JMRA ウェブ・メルマガ委員会＞

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

特 集

国際潮流シリーズ第2弾

ESOMAR大会参加報告
(9/10～13:アムステルダム)

国際潮流シリーズ(2):ESOMAR 大会参加報告
(9/10～13:アムステルダム)

国際的に安定成長に回帰－AIを「どう使うか」が課題に

9月に開催されたESOMAR Congress 2023は、過去最高の1,200名超のリアル参加者を集め、インサイト産業の本格的な復調を体感する場となりました。

主な発表のほとんどに生成系AIの話題が登場し、国際的な関心の高さを示すとともに、熱狂の段階はすでに過ぎ去り、これから「どう使う(べき)か?」が重要との認識が共有されました。

また、データ品質の確保がますます重要となり、Fraud(詐欺回答)対策を含む品質向上対応組織の発足が紹介されました。

なお、開幕と同時に発表されたGlobal Market Report 2023では、テクノロジー主導調査(MarTech)の伸長を軸に、前年比(実質)3.5%の成長を維持したことが示されました。

(注:GMRを含む各種レポートの詳細については次月以降に解説していきます)

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



開催報告

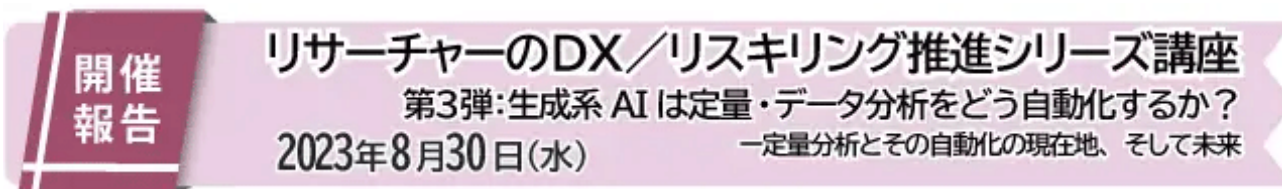
「クライアントの取り組みを聞く」第 6 弾 Sansan 様 『リサーチ部門立ち上げの秘訣を聞く！』(9 月 29 日)

JMRA リサーチ・イノベーション委員会の「クライアントの取り組みを聞く」第 6 弾は、Sansan 株式会社 UX リサーチセンターの大泊杏奈様、倉内香織里様をゲストにお招きしました。

クライアント内で新たにリサーチ部門が立ち上がるというのは、そうそう頻繁にあることではありません。今回は、まさにその立ち上げという実績を作られ、さらに関係部門との関係構築・強化を進め、それに伴うリサーチ部門の役割拡大に取り組んでこられた経緯や、一般的なマーケティング・リサーチと UX リサーチの違いについてもお話を伺いました。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



開催報告

リサーチャーの DX/リスキリング推進シリーズ講座 第 3 弾 (8 月 30 日)

リサーチャーの DX 対応推進をテーマにした本シリーズの第 3 回を実施しました。

JMRA 理事の佐藤哲也氏の趣旨説明につづいて登壇したのは、立教大学 大学院人工知能科学研究科 教授の大西立顕氏。「定量的に分析する」をテーマに、アカデミックな観点からご講演いただきました。

さらに佐藤氏が、マーケティング・リサーチの現場における「大規模言語モデルによる定量分析自動化の現状」について、話題の“Code Interpreter”の実演もまじえながら紹介しました。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

開催報告

多様なマーケティング・リサーチの
新潮流に触れる 著者が語るシリーズ2023

第4回

9.21
(木)

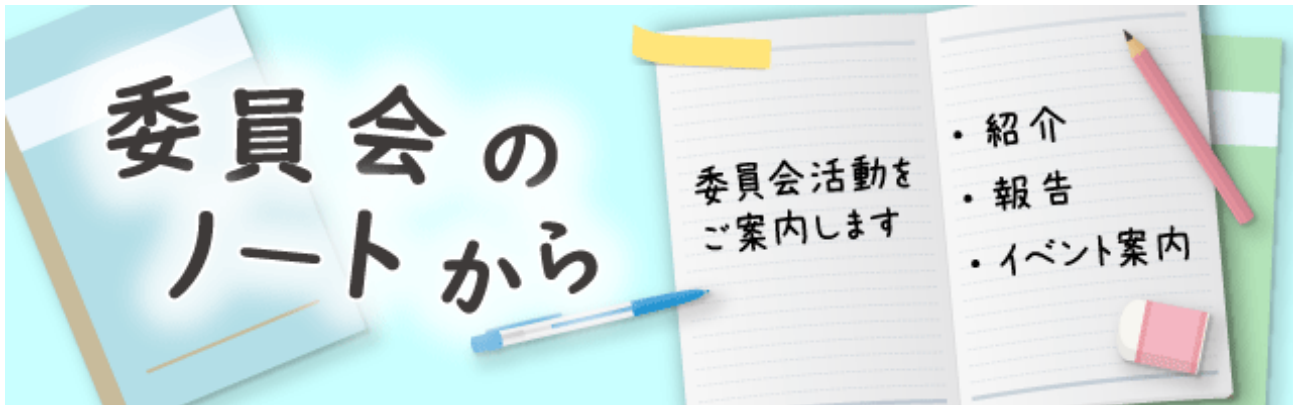
開催報告

著者が語るシリーズ 2023 第 4 回 安齋勇樹氏(9 月 21 日)

第 4 回は、株式会社 MIMIGURI 代表取締役 Co-CEO、東京大学大学院情報学環 特任助教であられる安齋勇樹氏にご登壇いただき、開催いたしました。

安齋氏は、ご自身の代表的著書である「問いのデザイン: 創造的対話のファシリテーション」「問いかけの作法 チームの魅力と才能を引き出す技術」で、課題解決のためのチームの話し合いにおいて「良いアイデアが生まれない」「チームの一体感がない」と感じるとき、それはチームのメンバーやマネージャーの能力不足ではなく、チームで向き合っている「問い」がうまくデザインされていないことが原因である。そもそも何を解決すべきなのか、「本当に解くべき課題」を正しく設定できなければ、根本的に解決の方向性がずれてしまい、関係者に「創造的な対話」は生まれない、と提唱されています。

[詳しくはこちら](#)



JMRA では、多くの委員会が活動しています。それぞれの委員会がどのような方向性で何に取り組んでいるのか、毎月ひとつの委員会を取り上げ、情報の発信をいただきます。

今回は産業統計委員会です。

各分野の市場規模を算出していますので、ご覧ください。

[詳しくはこちら](#)



最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

●日経読者に聞く 新型コロナ5類移行後「生産性上がった」2 割
(2023.10.5(株)日経リサーチ)
在宅から出社に切り替わったことで役職者は

今月の注目調査

●朝活に関する調査(2023 年)
(2023.10.6(株)クロス・マーケティング)20～60
代男女の 4 分の 1 は朝活経験者(男性 20～
30 代が多い)。「散歩・ウォーキング」「お茶やコ

生産が“上がった”、一般職は“下がった”と感じ、一ヒールを嗜む」「ジョギング・ランニング」が実施しています。その差はコミュニケーションの捉え方、している内容 Top3 です。皆さんも何か“朝活”が一因？ また、3割強が通勤等によるワークライフバランスの悪化を感じています。

[詳しくはこちら
\(JMRAマーケティングデータ・ストレージ\)](#)

[詳しくはこちら
\(JMRAマーケティングデータ・ストレージ\)](#)

連載



『トランスフォーミング インサイト』 ～成功する企業インサイトチームの42の秘訣～

トランスフォーミング・インサイト

インサイト部門のリーダーたちの学びと情報交換のための組織インサイトマネジメントアカデミー IMC の CEO ジェームズ・ウィッチャーリー氏の『トランスフォーミング・インサイト～成功する企業インサイトチームの42の秘訣～』という本を元に、リサーチ業界にとってのクライアントである企業の「インサイト部門」にとっての課題を掘り下げていきます。

今回は「第3部 インサイトの戦略と人材をリードする」より

第26章 人材がすべて

第27章 チームの中ではなく、チームのために働く

を紹介します。

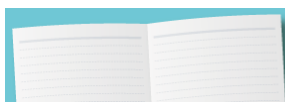
著者:ジェームズ・ウィッチャーリー インサイトマネジメントアカデミー CEO

翻訳:岸田 典子 リサーチ・コンサルタント

[詳しくはこちら](#)

What's happened?

おすすめ記事をピックアップしてご紹介



今月の注目記事

●会員数を約 10 倍にした旭化成のオウンドメディアリニューアル作戦
成果の一つはデジマ×営業の協働

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)



今月の注目記事

●「X(旧 Twitter)やめます！」は本当なのか？
アプリログデータから見る、他 SNS への移行状況

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)

育成講座・セミナー・イベント・説明会のお知らせ



マーケティング・リサーチ ベーシックコース (秋季) 2023年9月1日(金)～10月31日(火)

●マーケティング・リサーチ ベーシックコース(秋季)

初めてマーケティング・リサーチ業務に接する人から3年程度の業務経験を重ねた方の、リサーチの全体像の知識取得と理解を目標として開講するものです。

今期より、新製品開発等で多用される手法で、固有の実施方法や分析方法が数多く含まれる「テスト・実験調査」がラインナップに加わりました。

マーケティング・リサーチの実務を担当して日の浅い方や調査の基本を知りたい方、また、調査の営業・企画担当者に受講をお勧めします。

・日程(視聴期間):2023年9月1日(金)10:00～10月31日(火)17:00

・会場:オンデマンド+フォローアップ講座

詳しくはこちら



リサーチャーのDX／リスキリング推進シリーズ講座

第4弾:生成系 AI のグローバルトレンド

2023年10月25日(水)

-50を超える英文記事サーベイから生成系 AI の活用トレンドをご紹介します

●リサーチャーの DX／リスキリング推進シリーズ講座 第4弾

毎日のように生成系 AI(LLM: 大規模言語モデル)の動向に関するニュースが飛び交い、世界中で新商品やサービスが登場しています。市場調査・インサイト産業分野も例外ではありません。本シリーズ講座の第4弾では従来の回と少し趣向を変え、よりリサーチャーに身近で、「これは使えるかも?」というグローバルなサービスをご紹介します。

特別枠としてお昼休み時間帯に設定し、参加しやすい費用に抑えました。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

・日程:2023 年 10 月 25 日(水) 12:00～13:00

・会場:Zoom ミーティング

[詳しくはこちら](#)



●【特別回】「クライアントの取り組みを聞く」第7弾: イオングループ様

ーイオングループにおけるデータの価値化 ～データ戦略と事例の紹介

「クライアントの取り組みを聞く」第7弾は、全国2万店舗、年間14億件の購買データを活用し、消費者の「買い物体験価値」向上とグループ内DXに取り組む、イオン(株) チーフデータオフィサーの中山 雄大様をお招きします。

ID-POSをはじめとする膨大なビッグデータを解析し、生成系AIも活用しながら中山氏が目指すところは? 経営層を含むデータ活用部門の責任者や、最前線の実務家におすすめしたい内容です。ある意味、私たちリサーチャーへの挑戦状となるかもしれません。ご期待ください。

※1)イオン様の内部データや事例をご紹介しますため、今回は特別に【対面開催、Zoom 配信・資料配布なし】とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

※2)先着順にお申し込みを受け付けますが、同一会社からの参加者数の調整をお願いする可能性があります。また、応募者多数の場合、外部会場を借用することも検討いたします。

・日程:2023 年 11 月 14 日(火)16:00～17:30

・会場:JMRA 研修室又は外部会場

[詳しくはこちら](#)



マーケティング・リサーチ ステップアップコース 2023 年 11 月 20 日(月) ～統計的基礎分析の基礎講座～

●マーケティング・リサーチ ステップアップコース

～統計的基礎文責の基礎講座～

この講座では、データ分析の基礎として「尺度の種類」を学びます。

データの尺度によって、分析の方法に制限が出てきますので、それについても詳しく解説します。

さらに、1 つのデータの分布の読み方や、2 つ以上のデータの関係性、例えば「クロス集計」や「相関」についても学んでいきます。特に、「相関係数」などの具体的な指標にも焦点を当てます。

分布や平均値などの分析時に、判断が分析者によって異ならないよう、正確な「検定」の方法も取り上げます。具体的には、2 つのカテゴリーを持つ 2 変数のクロス集計表を例に挙げて解説します。

マーケティング・リサーチの担当者の方々に、この講座は特にお勧めです。

・日程:2023 年 11 月 20 日(月)10:00～17:00

・会場:JMRA 研修室(会場集合型対面形式)

[詳しくはこちら](#)



マーケティング・リサーチ エキスパートコース 2023 年 12 月 14 日(木) ～テスト・実験調査の設計と結果のデータ分析～

●マーケティング・リサーチ エキスパートコース

～テスト・実験調査の設計と結果のデータ分析～

本講座では、テスト・実験調査の様々な構成要素に関わる計画立案の方法を学習します。さら

に、各種のテスト・実験の結果から得られた様々なデータの分析手法も学習します。テスト・実験調査に関わるこれらの学習によって、目的に即したテスト・実験調査の妥当な計画立案が可能となるとともに、得られたデータから目的に即した信頼できる結果を検出することが可能になるでしょう。

このことは、テスト・実験調査を発注するクライアントの担当者には必須の知識であるとともに、受注する側の調査会社の方にとっても、クライアントと協力してより良いテスト・実験調査計画立案の助言を行い、妥当な実施を行い、結果から有用な情報を検出・提供する手助けとなるでしょう。そのため、クライアント・調査会社双方のテスト・実験調査の計画・実施・分析担当者に、ぜひ受講することをお勧めします。

・日程:2023 年 12 月 14 日(木)10:00~17:00

・会場:JMRA 研修室(会場集合型対面形式)

[詳しくはこちら](#)

お知らせ

The banner is divided into two main sections. The left section has a light beige background with the text 'ESOMAR THE ART & SCIENCE OF INNOVATION' in green and black, and 'SINGAPORE 8-10 NOVEMBER 2023' in a green circle. It features illustrations of a hand holding a green paintbrush, a paintbrush with green paint, a black sphere, and a small insect. The right section has a dark green background with the text 'Are you ready to explore the Art & Science of Innovation?' in white, followed by 'EARLY BIRD DEADLINE 15 SEPTEMBER 2023' in a small white box. Below this, it says 'In 2023, we'll be bringing together innovators, influencers and insights professionals from around the world to celebrate The Art & Science of Innovation in Singapore.' and 'Join us from 8 to 10 November 2023 and connect with 400+ regional and international industry professionals. Immerse yourself in cutting-edge insights and game-changing strategies, marvel at innovative technologies and methodologies, and leave with actionable tips ready for immediate implementation!'.

●まだ間に合います！ ESOMAR APAC 2023 (Singapore)

コロナ禍が明け、アジア太平洋地域の対面式イベントが復活しています。ESOMAR APAC 2023 (シンガポール)が「The Art & Science of Innovation」をテーマに、11 月 8 日～10 日の日程で開催されます。

ChatGPT などの生成系 AI が話題をさらってから、ほぼ最初のビッグイベントとなり、プログラムには AI 活用をはじめとした先進的な事例が目白押しです。今回は JMRA の岸田典子さんが、「Creating new stories of the future and bridging back to the present」と題して登壇されます。ぜひ参加をご検討ください。

[詳しくはこちら
\(外部サイト:ESOMAR\)](#)



JMRA メルマガ 72 号をお届けしました。

観測史上最も暑かったと言われる 9 月が終わりを告げた途端、もう晩秋の気配が漂うほどの肌寒ささえ感じる日もあるなど、気温の乱高下にいささか参ってしまいました。これも温暖化、異常気象の影響でしょうか。

これまで晴れの特異日と言われて久しかった 10 月 10 日(旧体育の日)も、早朝は雨模様で昼頃に漸く日が差したものの、夕方にはまた雨といった有様です。スギ花粉に悩まされ続けている私には、身体的ストレスがなく、自然の恵みを満喫できる秋は、1 年で最も待ち遠しい季節なのですが。。。

聞くところでは、夏場の暑さでフルーツや野菜にも変化が出ているとか。期待している秋らしさも叶わないとなると大変なショックです。

四季の移ろいがあって華やかな景観を見ることができた日本。この先どうなってしまうのかと案じずにはられません。

◆このメールはメルマガをご登録された方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は [こちら](#)よりお願いいたします。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。

◆配信元：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階

<https://www.jmra-net.or.jp/>

office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。